＜様式1＞

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ツーバイフォー四国の家
グループの名称	グループ「ツーバイフォー四国の家」
直近採択グループ番号	04-0051-0645

（グループ代表者）

代表者名	小濱　孝彦　代表者印
代表者所属先	大利木材株式会社
代表者所在地	徳島県徳島市津田海岸町7番-68号
代表者電話番号	088-662-5505

（グループ事務局）

事務局事業者名	大利木材株式会社
事務局担当者名	桑原　大学　印
事務局郵便番号	770-8001
事務局所在地	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
事務局電話番号	088-663-2428
事務局FAX	088-663-4050
事務局担当者E-mail	d-kuwahara@dairinet.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ツーバイフォー四国の家
２．グループの名称(必須)	グループ「ツーバイフォー四国の家」
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0051-0645
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	四国地区
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	小濱　孝彦
７．グループ代表者の所属先(必須)	大利木材株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	徳島県徳島市津田海岸町7番-68号
９．グループ代表者電話番号(必須)	088-662-5505
１０．グループ事務局事業者名(必須)	大利木材株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	桑原　大学
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	770-8001
１３．グループ事務局所在地(必須)	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	088-663-2428
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	088-663-4050
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	d-kuwahara@dairinet.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	0	原木の産地が海外である為、供給者が特定できない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	0	対象となる地域材が海外で製材される為、工場が特定できない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	4	
Ⅴ．設計	15	
Ⅵ．施工	15	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	□　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	SPFディメンションランバー	カナダ	PEFC	2	国外

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		30	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	30	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		35	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	35	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	2	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		17	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	17	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		6	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	6	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		5	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	1	棟
			480	㎡
		申請が未確定	2	棟
			1950	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	グループ内で統一された3種類のグループ内申請書を揃えた事業者が配分の権利を得て、先着順とするが、枠を超えたところは抽選とする。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	当初予算	採択戸数	19	戸	交付申請戸数	17	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	17	戸
	補正予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型									
	当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木の産地が海外である為、供給者が特定できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
対象となる地域材が海外で製材される為、工場が特定できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
36	Ⅲ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町７番６８号	08-8662-5505
38	Ⅲ － 2	株式会社共栄木材		799-3311	愛媛県伊予市双海町大久保甲４４番地１２	08-9987-5733
23	Ⅲ － 3	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥一丁目３番１７号	05-2661-1502
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
36	Ⅳ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町７番６８号	08-8662-5505
38	Ⅳ － 2	株式会社共栄木材		799-3311	愛媛県伊予市双海町大久保甲４４番地１２	08-9987-5733
23	Ⅳ － 3	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥一丁目３番１７号	05-2661-1502
38	Ⅳ － 4	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙１１１９番地１	08-9966-4468
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
36	Ｖ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町7番68号	08-8662-5505	○	
38	Ｖ － 2	株式会社共栄木材		799-3311	愛媛県伊予市双海町大久保甲44番地12	08-9987-5733	○	
23	Ｖ － 3	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥一丁目3番17号	05-2661-1502	○	
38	Ｖ － 4	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙1119番地1	08-9966-4468	○	
36	Ｖ － 5	井川設計工房株式会社		770-0872	徳島県徳島市北沖洲１－９－24	08-8664-2170	○	
36	Ｖ － 6	鳳建設株式会社		770-8024	徳島県徳島市西須賀町東開38	08-8669-2711	○	
37	Ｖ － 7	アースハウジング株式会社		761-8001	香川県高松市伏石町2140－1	08-7815-0701	○	
37	Ｖ － 8	デザインリゾート株式会社		761-8073	香川県高松市太田下町2602番地3 Ｓ－Ｙビル1Ｅ	08-7813-7207	○	
38	Ｖ － 9	コンフォート一級建築設計事務所		790-0903	愛媛県松山市東野5丁目甲930－98	08-9945-4156	○	
37	Ｖ － 10	サクラホーム株式会社		761-8075	香川県高松市多肥下町21-8	087-761-8075		○
38	Ｖ － 11	有限会社住宅建築研究所		790-0042	愛媛県松山市保免中1丁目2－21	08-9971-7767	○	
38	Ｖ － 12	株式会社トータルハウジングトップ		791-1106	愛媛県松山市今在家2丁目1番4号	08-9957-2777	○	
38	Ｖ － 13	株式会社真建ホームズ		790-0065	愛媛県松山市宮西1丁目6番3号	089-923-6636		○
39	Ｖ － 14	株式会社総合流通グループ		780-0818	高知県高知市宝永町10番15号	088-882-2828		○
36	Ｖ － 15	有限会社ジャパンホーム		771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや139番地の7	08-8698-9155		○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							15	○	○
36	Ⅵ － 1	49589	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町7番68号	08-8662-5505	○	
38	Ⅵ － 2	49904	株式会社共栄木材		799-3311	愛媛県伊予市双海町大久保甲44番地12	08-9987-5733		○
23	Ⅵ － 3	46435	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥一丁目3番17号	05-2661-1502	○	
38	Ⅵ － 4	49898	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙1119番地1	08-9966-4468		○
36	Ⅵ － 5	49557	井川設計工房株式会社		770-0872	徳島県徳島市北沖洲1－9－24	08-8664-2170	○	
36	Ⅵ － 6	49626	鳳建設株式会社		770-8024	徳島県徳島市西須賀町東開38	08-8669-2711	○	
37	Ⅵ － 7	49643	アースハウジング株式会社		761-8001	香川県高松市伏石町2140－1	08-7815-0701	○	
37	Ⅵ － 8	49697	デザインリゾート株式会社		761-8073	香川県高松市太田下町2602番地3 S－Yビル1E	08-7813-7207	○	
38	Ⅵ － 9	49909	コンフォート一級建築設計事務所		790-0903	愛媛県松山市東野5丁目甲930－98	08-9945-4156	○	
37	Ⅵ － 10		サクラホーム株式会社		761-8075	香川県高松市多肥下町21-8	087-761-8075		○
38	Ⅵ － 11	49957	有限会社住宅建築研究所		790-0042	愛媛県松山市保免中1丁目2－21	08-9971-7767	○	
38	Ⅵ － 12	49944	株式会社トータルハウジングトップ		791-1106	愛媛県松山市今在家2丁目1番4号	08-9957-2777		○
38	Ⅵ － 13		株式会社真建ホームズ		790-0065	愛媛県松山市宮西1丁目6番3号	089-923-6636		○
39	Ⅵ － 14		株式会社総合流通グループ		780-0818	高知県高知市宝永町10番15号	088-882-2828		○
36	Ⅵ － 15	49560	有限会社ジャパンホーム		771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや139番地の7	08-8698-9155		○
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
36	Ⅵ － 1	49589	大利木材株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
38	Ⅵ － 2	49904	株式会社共栄木材	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
23	Ⅵ － 3	46435	大日本木材防腐株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
38	Ⅵ － 4	49898	北米産業株式会社	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
36	Ⅵ － 5	49557	井川設計工房株式会社	20 戸	18 戸	20 戸	15 戸	0 戸	1 戸	3 戸	3 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
36	Ⅵ － 6	49626	鳳建設株式会社	17 戸	17 戸	9 戸	5 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
37	Ⅵ － 7	49643	アースハウジング株式会社	6 戸	9 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
37	Ⅵ － 8	49697	デザインリゾート株式会社	5 戸	3 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
38	Ⅵ － 9	49909	コンフォート一級建築設計事務所	3 戸	3 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
37	Ⅵ － 10		サクラホーム株式会社	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
38	Ⅵ － 11	49957	有限会社住宅建築研究所	10 戸	10 戸	4 戸	3 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
38	Ⅵ － 12	49944	株式会社トータルハウジングトップ	6 戸	7 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
38	Ⅵ － 13		株式会社真建ホームズ	15 戸	15 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
39	Ⅵ － 14		株式会社総合流通グループ	40 戸	37 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡				○	
36	Ⅵ － 15	49560	有限会社ジャパンホーム	8 戸	22 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）ツーバイフォー四国の家	（地域型住宅供給対象地域）四国地区
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）グループ「ツーバイフォー四国の家」	（結成年）2012　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0051-0645	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	四国地区は巨大地震が周期的に発生してきたこともあり、枠組壁工法で確実な耐震性能をもつ住宅を供給する。気候に関しては、瀬戸内側と太平洋側では降水量や台風の上陸数にかなり差があり、共通点は少ないが、これもまた四国の特徴であり、いかなる厳しい気候においても、その強度と高気密、高断熱などの性能を上げることにより、どのような地域であろうと長期間快適に生活できる建物を供給することを使命とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏は高温多湿で冬は乾燥している地域が多いが、山間部では積雪も多い地域もあり、結露がおこりやすいので、しっかりした結露対策をグループで話し合い、細かい部分にも手を抜かないシステム作りを構築する。また、雨が多い地域が多いので、建築中に建物を出来るだけ濡らさない為にも、プレカット構成員としっかり連携をとることで工場加工の比率を高め、上棟までの現場作業時間を短縮する努力をする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	デザインに関しては、ユーザーの構想や希望を基本とし、ルールとしての縛りはないが、構造的に特別に無理がないようなデザインを心掛け、長期間快適に過ごせる住宅を建築することを第一の目的とすることを忘れない。	◎
④ ①～③の背景	ツーバイフォー住宅は、四国の気候・風土に十分適合しているが、正しい認識と知識がなければ、どの工法にも言えることであるけれども、高気密・高断熱の高性能住宅は、大変な欠陥住宅になってしまう。グループで引き続きセミナーや勉強会を開催し、皆で正しい施工知識を共有することが、安定して高品質で省エネルギーな住宅を供給でき、社会に貢献できることにに繋がっていく。今後もこのような住宅を増やし、CO2排出、地球温暖化に歯止めをかけることに少しでも貢献し、その結果、気候も穏やかにもどることを願っている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当事業参加以来ずっと重点課題としていた、四国産枠組製材のJAS工場について、1社がJAS取得段階に入っており、今年度はまだ難しいが来年度には生産開始できる見込みとなってきているので、四国産地域材の使用が可能となり、これをグループの特徴としたい。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: ツーバイフォー工法である為、構造用木材、面材共にJAS規格品のみを使用する。	◎
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 住宅金融支援機構の枠組壁工法住宅工事仕様書を標準仕様とする。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 定期的に各グループ構成員に対し、合理化に向けた意見を収集し、意見の重要性に応じ、その都度、勉強会、意見交換会やを各グループ構成員に働きかけ実施する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容: 勉強会や意見交換会を実施し、グループ構成員同士の交流の場を設け、そこでの意見をとりまとめて合理化を図る役割を担う。新しい情報や意見などをグループ全体で共有するために、メールマガジンを定期的に発行する。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容: 当グループは、一社）日本ツーバイフォー建築協会四国支部会員で構成しているので、構造躯体施工は協会の施工基準書に順ずる事とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容: 自主検査チェックシートに沿って検査をしなければいけない。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容:	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容: 地域型住宅グリーン化事業に取り組んでいる「ツーバイフォー四国の家」のグループ構成員であることをわかりやすく明示したトレードマークを構成員で共有し、設計図面や見積書等に表示する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ツーバイフォー四国の家	（地域型住宅供給対象地域）四国地区
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）グループ「ツーバイフォー四国の家」	（結成年）2012　年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0051-0645	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	住宅履歴情報の蓄積			
	①-1	内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：住宅履歴情報は、共通ルールとして情報サービス機関に登録、蓄積すること。	◎
	①-2	情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：当グループの地域型住宅は、全て情報機関サービスを活用する。	◎
	①-3	履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：情報サービス機関のデータベースで、施工主、施工構成員で情報を共有して確認する。	◎
	②	メンテナンス基準の整備			
	②-1	点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：点検マニュアルを作成して決められた時期に点検する。	◎
	②-2	補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：補修資金計画表を作成し、長期間の保全に必要な経費を表にまとめる。	◎
	②-3	点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：情報サービス機関を利用して確認する。	◎
	③	住まいの管理			
	③-1	住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：各施工グループ構成員が自主的に行うこととする。	○
	③-2	DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：各施工グループ構成員が自主的に行うこととする。	○
	③-3	その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：各施工グループ構成員が自主的に行うこととする。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある → 内容：各施工グループ構成員からそれぞれ1名委員を任命し、③の運営について協議する。。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある → 内容：住宅支援機構発行の「すまいの管理手帳」を活用する。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：グループ事務局を相談窓口とし、住宅所有者の要望があれば相談窓口へ連絡してもらい、別の構成員を今後の点検やメンテナンス業務の継続者として紹介する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：採択された後にグループ説明会を実施し、その時に過去の瑕疵内容等の勉強会を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			上記の内容と同じことになるが、長期間住宅を良い状態で維持していくには、工務店だけに任せるのではなく、住宅所有者の自己責任も大事なことであり、情報サービス機関を必ず活用し、情報を共有して長期間お互いにパートナー関係を持続して、品質を維持し続けることが目標とする。住宅所有者との良好な信頼関係を維持するために、各施工グループ構成員は、独自に勉強会や定期的に感謝祭など開催することによって、気軽に相談できる機会を作って行く事が大事であると考える。		◎

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：要望があれば事務局が研修会を開催して実務指導を行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：日本ツーバイフォー建築協会の自主工事検査チェックリストを共通で活用する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：自主工事検査チェックリストの写しを実績報告時に事務局に提出する。	◎
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある → 内容：	
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：当グループ住宅建築に携わる全ての職人や現場監督に、正しい施工方法を勉強会や現場で実技指導などを行って、全ての業種でトップレベルまで向上させる。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある → 内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 28	今年度の参加目標人数 40	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 32	今年度の参加目標人数 40	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：四国4県で開催される省エネ技術講習会のスケジュールを全てのグループ構成員に通知する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：他のグループとも交流を持ち、当グループに足りない知識や技術を導入していく。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある → 内容：四国産ツーバイフォー部材を、強度や性質を検証して、どの部位に使用できるかを協議する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					◎

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）ツーバイフォー四国の家	（地域型住宅供給対象地域）四国地区
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グループ「ツーバイフォー四国の家」	（結成年）2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0051-0645	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材（縦枠、上下枠、床根太、端根太、頭つなぎ、土台）の50%以上に、民間の第三者機関により認証された森林から産出される合法性が証明される木材、木材製品を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材 土台：■ 使用していない　□ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材 壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	カナダ、アメリカの製材シッパー → 建材流通構成員かまたは直輸入のプレカット構成員 → プレカット構成員 → 施工構成員 ※プレカット加工を自社で行う施工構成員は、プレカット構成員を経由しないことも可能であるが、建材流通構成員から合法性が証明できる証明書や、邸名、施工住所が明記された納品書か出荷証明書の添付が義務。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：各プレカット事業者が日々更新の在庫表にて把握する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：当グループの地域材は相場価格が分かりやすく、各施工構成員の購入価格はほぼ変わらない。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：プレカット事業者同士が連携して常に需給状況を把握するようにしている。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		当グループは、和風デザインにこだわる必要なく、顧客の理想とする住環境を提案、実現し、その上長期的に高品質を保てる家作りが地域社会への貢献に繋がると信じている。四国は成熟し伐採期を迎えた植林材の埋蔵量が多く、これを何とかして新しい利用方法としてツーバイフォー建築の主要構造部材として使えるようになれば、地域の林産業に大きく貢献できるものと信じ、開発に努力を続けている。何としても今年度中に生産が開始できるようにするのが大きな目標である。	◎

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）ツーバイフォー四国の家	（地域型住宅供給対象地域）四国地区
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グループ「ツーバイフォー四国の家」	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0051-0645	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型住宅とは、机上計算とそれを確実に実現する施工能力があってこそできるものであるので、設計、施工、管理に携わる全ての者が高い意識を共有して取り組まなければならない。当グループの住宅は全て枠組壁工法であり、その特徴である耐震、耐火性能や高気密、高断熱性能を確実にまた高いレベルで発揮できる住宅を安定供給することをグループの特徴とする。全てのグループ施工会社が外皮の性能を算定数値通りに施工できるレベルになり、実質的な高性能住宅を供給できるようにする。その為には省エネ講習会以外に、当グループ独自に適正施工講習会を開催し、現場に携わる職人や現場管理者全員を必須参加で行う。構造躯体施工、防水工事施工、断熱工事施工のそれぞれのマニュアルツールや工事検査チェックシートがすでに揃っており、妥協の無い施工を徹底する。既に一部の構成員で行っている全棟気密測定も、できるだけ早い段階で全ての施工構成員に義務づけるようにする。
グループの初めの目標としては隙間相当面積（C値）を1．0㎠/㎡以下とし、外壁に通気層、小屋裏（屋根）には棟換気を設け、外壁、小屋裏（屋根）の一体的な通気通気を確保し、躯体外皮の排熱を促す。また、四国産の枠組壁工法JAS製材製品の開発に力を入れ、構造材の過半に四国産地域材を使うことを出来る限り早く実現して、地元林業の活性化や地球温暖化の抑制など社会に貢献できる住宅造りを考えるグループになることを理想としている。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。